

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価格によっている。なお、取得価格と債券金額との差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2/3)	当期増加額 (2/4～3/3)	当期減少額 (2/4～3/3)	当期末残高 (3/3)
基本財産				
土地	157,702,310	0	0	157,702,310
山林	187,541,369	0	0	187,541,369
小 計	345,243,679	0	0	345,243,679
特定資産				
退職給付引当資産	15,078,900	2,483,937	296,890	17,265,947
林業文献基金	53,163,022	0	0	53,163,022
公益事業基金	220,000,000	0	0	220,000,000
事業準備資金	19,242,142	0	0	19,242,142
建替準備資金	20,000,000	10,000,000	0	30,000,000
小 計	327,484,064	12,483,937	296,890	339,671,111
合 計	672,727,743	12,483,937	296,890	684,914,790

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高 (3/3)	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
土 地	157,702,310	(157,702,310)	( 0 )	-
山 林	187,541,369	(187,541,369)	( 0 )	-
小 計	345,243,679	(345,243,679)	( 0 )	-
特定資産				
退職給付引当資産	17,265,947	( 0 )	( 0 )	(17,265,947)
林業文献基金	53,163,022	( 0 )	(53,163,022)	( 0 )
公益事業基金	220,000,000	( 0 )	(220,000,000)	( 0 )
事業準備資金	19,242,142	( 0 )	(19,242,142)	( 0 )
建替準備資金	30,000,000	( 0 )	(30,000,000)	( 0 )
小 計	339,671,111	( 0 )	(322,405,164)	(17,265,947)
合 計	684,914,790	(345,243,679)	(322,405,164)	(17,265,947)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高 (31/3)
造 作	2,747,293	2,671,782	75,511
構 築 物	510,000	407,057	102,943
器 具 備 品	6,173,951	6,036,602	137,349
合 計	9,431,244	9,115,441	315,803

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	時 価	評価損益
国債 159回号	119,980,605	124,785,250	4,804,645
国債 321回号	89,757,664	90,971,800	1,214,136
合 計	209,738,269	215,757,050	6,018,781